

人口対策等地方創生に向けて取り組むべきと考える事業について

1 産業振興による働く場の創出・拡大

(1) 地場産業の振興

- ・成長産業、地場産業への支援強化
(経営改善・事業再生・事業継承を支援、事業拡大、新分野進出、創業・新産業創出を支援)
- ・都市圏等における販路開拓等の事業の実施
- ・商店街の維持・再生
- ・中心市街地における空き地・空き店舗の有効活用
- ・地域の魅力ある中小企業の発掘
- ・小樽ブランドの更なる浸透
- ・職業別組合づくり
- ・小樽港の活性化
(商工会議所と行政が一体となって、対岸貿易振興に向けての取組が必要)
- ・中小企業等振興基本条例の制定

(2) 起業支援（創業支援）

- ・新規出店者に対する家賃補助、空き店舗の紹介等
- ・若手起業向け経営塾の開設

(3) 交流人口の拡大

- ・ニセコ・倶知安をモデルとした国際観光都市
- ・宿泊施設の充実、市内メディアの国際化
- ・更なる観光拠点の創出
- ・歩いて楽しめる観光コースづくり
- ・観光産業に従事する従業員の教育
(「おもてなしの心」をコンセプトに共同で研修)
- ・地域住民や国内外観光客等の生活や交通などの利便性向上

(4) 若者などへの地元就労支援

- ・産業構造や自然環境の分析による雇用機会の確保と雇用創出
- ・潜在的な労働供給力の活用を含めた地元人材の育成と定着
- ・新卒者等への就職支援

- ・フリーター・ニート等への就職支援
- ・正社員求人拡大と非正規雇用労働者の正社員化の実現
- ・正社員実現に取り組む事業主への支援
- ・ワークライフバランスの実現
(所定労働時間の削減、年次有給休暇の取得促進)
- ・女性、高齢者、U・I・Jターン等就業希望者に対するマッチング機会の拡充
- ・雇用促進助成
- ・地元に着定するための教育・育成
- ・安定して働くことのできる企業づくり
- ・小樽商科大学での市内企業による講演会の開催
(市内企業の魅力を知る機会の提供)

2 子育て支援と教育の充実

(1) 子育て経費等の軽減

- ・出産に対する助成制度の創出
- ・医療費助成の年齢の見直し
(年齢延長)
- ・第2子、第3子の保育所、幼稚園、就学(義務教育)時にかかる費用の支援

(2) 保育等に係る支援

- ・自宅もしくは職場近くでの保育所の確保
- ・延長保育の時間見直し
(終了時間の延長)

(3) 子育て環境の整備

- ・安心して結婚し、子どもを産み育てられる環境の整備
- ・安心して出産できる社会環境(病院・保育所)の整備
- ・周産期医療の整備
- ・産婦人科の設置
- ・産休・育休を取得しやすい環境づくり
- ・育児休業の取得促進や多様な働き方の普及
- ・子育てと仕事の両立支援等に対する環境整備
- ・母親サークルへの活動費助成
(場所作りの貸館料金など)

- ・就学児童の居場所づくり
（地域での寺小屋的児童預かりシステムの構築）
- ・女性の社会進出に伴う、結婚、出産への環境づくり

(4) 教育の充実

- ・教師の質的向上
（教育研究所のあり方の検討）
- ・学校・父母・地域が一体となった子どもの教育
- ・安心して通わせることができる学校・通わせたい学校づくり
- ・学力・心身向上・体験学習等の教育実績づくり

3 生活環境の整備

(1) 小樽への居住促進

- ・UIJ ターンの促進
- ・都市圏からの人材の還流
- ・定住移住者のための空き家情報の充実
- ・空き家の活用
- ・結婚後の家賃補助、市営住宅の優先入居
- ・安心して魅力ある拠点都市の形成
- ・安全安心につながる環境整備
- ・若者にとって魅力のある場の創出

(2) 交通アクセス（JR、バス）の充実

- ・JR 銭函駅の札幌方面への利便性向上
（快速列車（エアポート・石狩ライナー）増便。銭函駅を停車駅とするなど）
- ・JR ほしみ駅発の列車を JR 銭函駅発に転換
- ・中央バス銭函市街線の設置・増便

(3) その他

- ・健康に暮らせる保険・医療の推進
- ・町会役員の担い手不足解消のための取組
（「町会加入促進条例」の制定、行政と町会の連携体制の構築、行政による協力的リーダーシップ）
- ・協働によるまちづくりとコミュニティの再構築
- ・町会や商店街などと協力し、一致して安心して住める街をつくる

- ・ 銭函地区（銭函・星野・見晴・桂岡・春香・張碓）のベッドタウン化

居住地区の開発、新たな商業施設（S C型や道の駅等）の誘致

小樽初の「道の駅」の整備
（候補地・・・春香町5号線沿いの売地や景勝園など）

地区間とJR銭函駅への交通ネットワークの整備

札幌病院と地区医院の連携で医療ネットワークづくり

職業能力大学校等の活用で職業人や起業者の育成体制づくり

旧薬科大の施設活用や春香山周辺で芸術・学術の発信基地づくり

銭函浜の活用で観光やレジャー産業づくり

寿司・菓子等の食産業の第二の拠点づくり など

4 その他

(1) 結婚支援

- ・ 結婚希望者相談窓口の設置
- ・ 行政・民間が連携した婚活事業の推進
- ・ お見合いの推進

(2) 施策の方向性についての意見

- ・ 人口の社会減及び自然減の状況や見込みなど、小樽市の特性を踏まえ、改善効果が高い施策を優先的に検討すべき
- ・ 小樽市は、後志地域の唯一の市であることから、近隣町村との広域連携の取組を含め、後志全体の人口流出のダム機能が発揮される取組を期待
- ・ 「働く街」としての発展か、「住む街」としての発展を目指すのかを決めるべき
- ・ 今後、教育・生活環境を重点的に改善し、ベッドタウンの機能を整備していく方針を取る方が現実的
- ・ 子育て支援と教育の充実と生活環境の整備は、一体化して取り組むべき
- ・ 出産／育児／教育施設・医療施設・高齢者生活環境等の充実にまずは取り組むべき
- ・ 優先すべき項目は「結婚、出産、子育て支援と教育の充実」
- ・ 働く場があって、次に結婚、子育てと続く
- ・ 全市全地域が画一的に実施するのではなく、地域ごとに優先ポイントを考え施策を実施。その後、成果が出た対策を成功事例として他地域へ波及
- ・ 市民の理解と協力なくして人口減対策は難しい

(3) その他の施策

- ・ふるさと納税の活用
- ・生涯現役で活躍する健康づくりの推進
- ・軽作業、趣味の仲間づくり等の場の提供
- ・新たなニュータウンの開発
- ・外国人向けの居住地区の開発
- ・マンション・アパートの開発